

学校名	福島県立聾学校会津分校	校長	高屋 隆男
住所	会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原 102		
TEL	0242-22-1286	アドレス	http://www.fukushima-sd-aiizu.fks.ed.jp/

聴覚障がい児が太鼓の演奏に取り組んでいます。

本校は幼稚部幼児1名、小学部児童3名の小さな分校です。本来の聴力の程度は各々様々ですが、人工内耳や補聴器装用により全員がある程度聴覚を活用でき、日々のコミュニケーションは音声言語で行っています。聴覚を活用して教師や他児の話を聴いて応えられること（会話）は大切なことです。本校では学習や生活等様々な機会を利用してこの聴覚活用を重要視しています。

聴覚活用の一つとして「太鼓の演奏」があります。本校では、もう何年も前から取り組んでいる伝統的な活動となっており、毎年開催される発表会や文化祭等において太鼓の発表を行ってきました。

今年は「紅龍太鼓」と題して、会津養護学校との合同文化祭では、初めて、幼児児童だけで太鼓の演奏に取り組みました。というのも、これまでは、教師や学生ボランティアさんが一緒に太鼓を演奏していて、その音を聴いて太鼓を打つことがありましたが、今回は大人に頼ることなく自分たちだけの力で最後まで演奏しました。

聴覚に障がいがある子どもにとって、太鼓のリズムを覚え、四人一緒に音を合わせて打つことは簡単なことではありません。「紅龍太鼓」は一人一人が順番に前に出て自分のリズムで太鼓を打ち、途中から他の児童も同じリズムと一緒に打つものです。毎日のように練習を重ねてリズムを身体で覚え、上手に打つことができるようになりました。そして、文化祭当日は大勢の方々の前でとても堂々とした姿で太鼓の演奏を披露することができました。

紅龍太鼓



ステージ発表での様子 太鼓を打つ姿がとっても様になっています！

「取り組みの概要」については、以下の内容でお願いします。

本校では、聴覚障がいがある幼児児童が毎年太鼓の演奏に取り組んでいます。これまで、教師や学生ボランティアと一緒に太鼓を打っていましたが、今年の文化祭では大人に頼らず、自分たちだけで発表しました。